



大阪ガス

ガスファンヒーター

取扱説明書

43-703型

保証書付

形式の呼び/RC-211-1

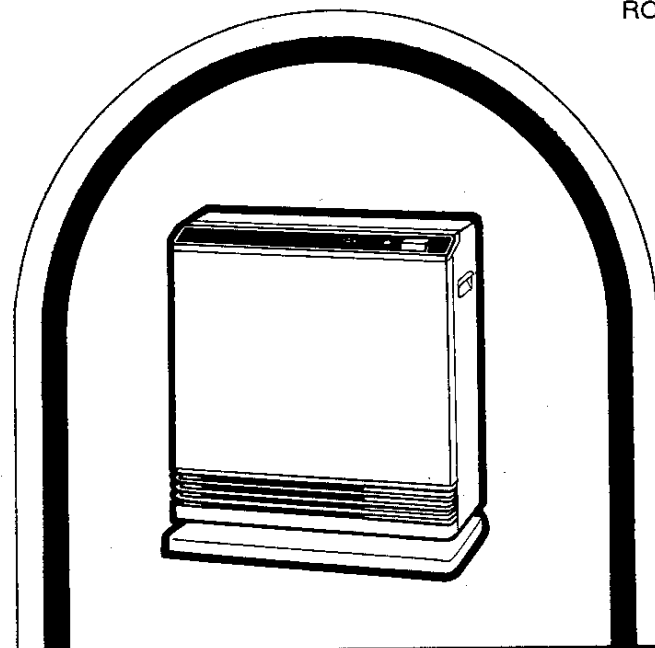
RC-211-2

大阪ガス本社・支社所在地および電話番号

本社・ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06 (852) 0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	〒590 堺市住吉南町2丁目2番19号	☎堺 0722(38) 1131
北新支社	〒569 高槻市黒の星39番6号	☎高槻 0725(71) 0361
阪神支社	〒662 西宮市利上町4番11号	☎西宮 0798(26) 3101
東部支社	〒578 東大阪市船場2丁目3番17号	☎河内 0729(62) 1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町1番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576) 5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸通北極楽町3番58	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85) 2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3) 2221
湖南支社	〒525 彦根市湯分町宇荒堀680の1	☎彦根 0775(62) 5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町1番11号	☎彦根 0749(22) 3131
長浜営業所	〒526 長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496(2) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

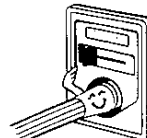
大阪ガス株式会社



ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
ガス元せんも
開める習慣を



換気必要

30分に1回
1分間程度



ガス器具は
ガスの種類
にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーター
をお求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

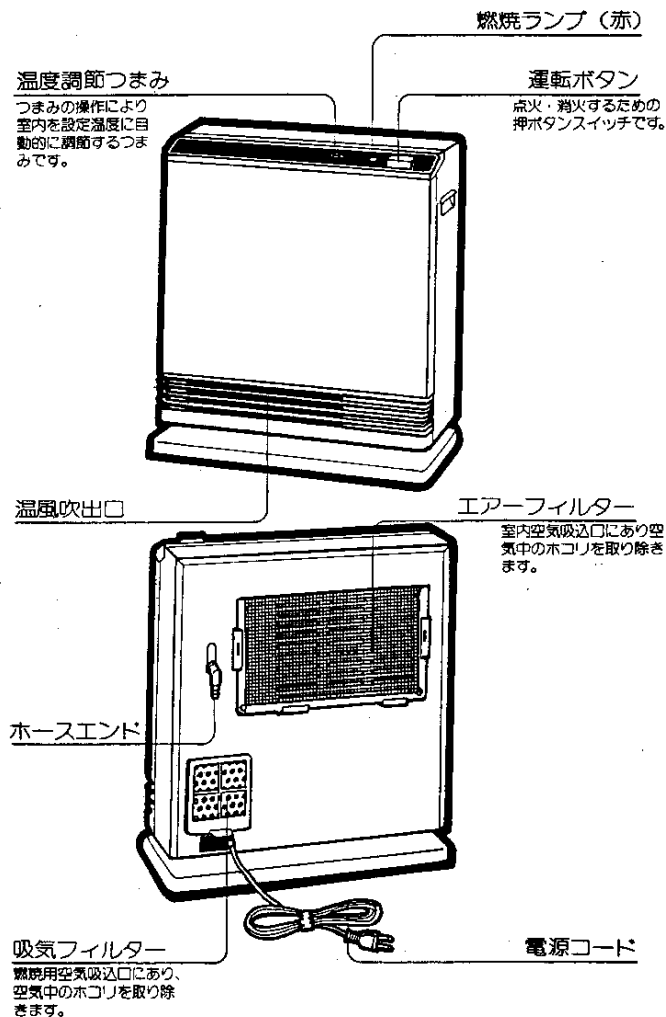
もくじ

- 各部の名称.....1
- 特に注意していただきたいこと.....2
- 器具の設置.....7
- 使用手順.....8
- 使用時のご注意.....12
(安全装置が作動したときの処置方法)
- 日常の点検・手入れ.....14
- 故障異常の見分け方と処置方法.....16
- 長期間使用しない場合.....17
- アフターサービスのお申し込み.....18
- 特 長.....19
- 寸法図と仕様一覧表.....20

換気にご注意

この器具は、強制給排気式（FF式）ではあ
りませんので換気が必要です。

各部の名称



特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体の右側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

（銘板）

メーカー型式

ガスの種類およびグループ

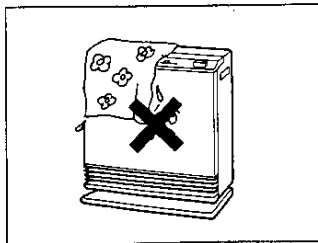
ガス消費量
製造年月日および製造番号
製造業者名

- 都市ガス用6C
- 都市ガス用6A
- 都市ガス用13A
- LPガス用

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。
- 転居される場合には、部品の交換や調整が必要となります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

用途についてのご注意

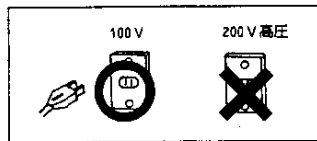
- 暖房以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しないでください。
衣類などを器具の上に置いたりしますと、温風の出口や吸込口がふさがれてしまい、器具内に熱がこもり大変危険です。



特に注意していただきたいこと②

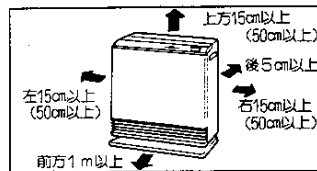
使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、50/60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

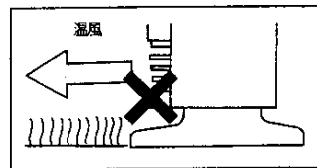


使用場所についてのご注意

- 理・美容院、メッキ・塗装工場、繊維関係の工場などスプレーや化学薬品を使用する場所および網ほこりの多い場所でのご使用はお避けください。器具の故障の原因になります。
- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。後の壁から5cm、横の壁または上方のうちいずれか一方は50cm、あとは15cm、前方1m以内に家具、建具などの障害物のない位置を選んでください。
- 器具の使用場所は、お部屋の元せんの近くをお選びください。
ゴム管を長くすると、あやまってふんだりひっかけたりする恐れがありますので、できるだけ、元せんの近くで使用してください。（3m以内）



- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。
炎が風で消えることがあります。換気をするときにも、強い風があたりないようにご注意ください。
- 毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、敷き板等を敷いてください。
温風がじゅうたんにあたり、変色する恐れがあります。

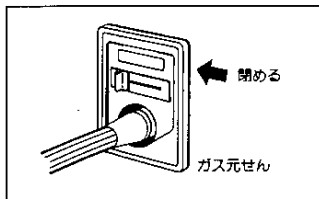
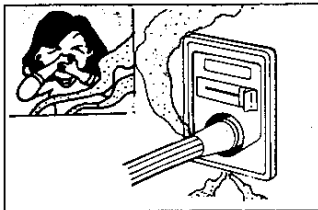


特に注意していただきたいこと③

使用上のご注意

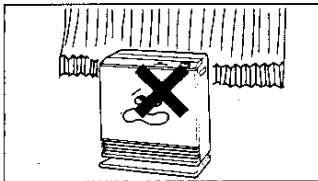
ガス漏れ予防

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。ビニル管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを用い、使用3年位を目安にとりかえてください。古くなりますと、抜けやすくなったりヒビ割れして、ガス漏れの原因になり危険です。
- 使用後は必ず運転ボタンを **切** にし消火したことを確かめてください。
- お出かけやおやすみの際には、ガス元せんも必ず閉じてください。



火災予防

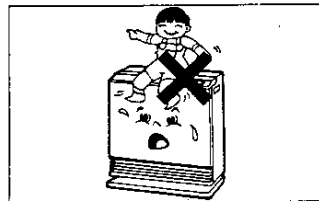
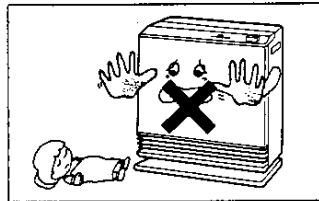
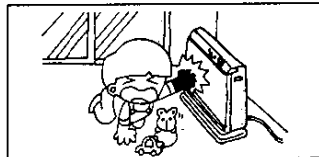
- 器具の上やそばに、燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。また、紙、布、など可燃物を温風吹出口や吸込口に入れないでください。火災の恐れがあります。
- ヘアスプレーなど引火物を、器具の近くで使用しないでください。炎は見えていませんが、引火する恐れがあります。
- 火をつけたまま器具を移動させないでください。ゴム管が折れ曲がったり、抜けたりして危険です。
- 外出、就寝時には必ず消火してください。



特に注意していただきたいこと④

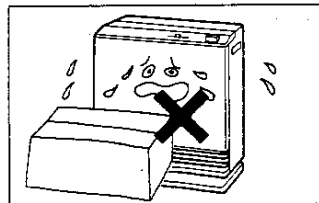
やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、温風吹出口とその周辺およびエアフィルター部は熱くなりやけどの恐れがありますので、手を触れたりしないでください。特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。また、小さなお子様が勝手に点火操作をしないようご注意ください。
- 温風をじかに長時間お体にあてますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意してあげてください。
- 器具の上に腰かけたり乗ったりしないでください。やけどや器具の変形の原因になります。



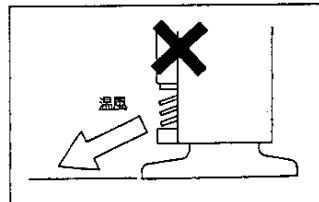
過熱防止

- 温風吹出口の前に物を置いたり、器具の後面（エアフィルター部）をふさいでりしないでください。異常過熱して、器具に悪影響をあたえるばかりでなく、お部屋が暖まらないこともあります。



温風吹出口のご注意

- 温風吹出口のルーバーの角度を故意に変えないでください。床（カーペット等）が変色したり器具の故障の原因となります。



特に注意していただきたいこと⑥

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

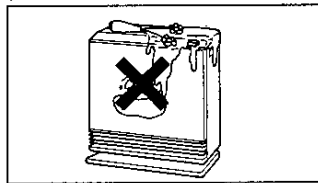
換気のご注意

- 使用中は30分に1回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして十分な換気をおこなってください。この器具は強制給排気式（FF式）ではありませんので換気が必要です。



水ぬれのご注意

- 器具に水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかる所で使用しないでください。内部が水でぬれますと、腐食することがあるばかりでなく、漏電・火災の危険があります。



異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまま使いにならず、直ちにご使用をやめ（運転ボタン、ガス元せんを止め）十分な点検をお願いします。（故障・異常の見分け方と処置方法については16ページをお読みください。）

日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは必ず行なってください。（詳しくは14ページをお読みください）
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

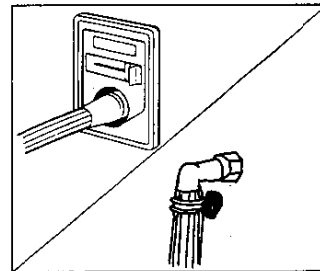
器具の設置

使用場所についてのご注意

- ご使用になる場合は、3ページの使用場所についてのご注意をお読みください。

ゴム管の接続

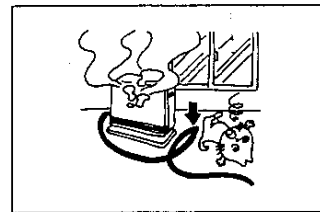
- 「カチット」方式の接続は確実に押しこんでください。



- ゴム管は9.5mmφ（内径9.5mm）のゴム管を使用し、ガス元せん・器具のホースエンドとも赤線まで十分に差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。

ゴム管止めでしっかり止めていないと、知らずにはずれかかってガスもれが生じることがあり危険です。

- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないように、できるだけ短かくし（3m以内）、また器具の下を通したり器具に触れたりしないようにして使用してください。



- ゴム管の器具接続や、元せん接続に、「カチット」を接続すれば、接続が簡単で便利になるだけでなく、不十分なゴム管接続によるガスもれを防ぐことができます。

- ガスコード（強化型小口径ガスホース）は、13A器具のみ使用可能です。

器具の設置②

- ゴム管は良質のものを用い、使用3年位を目安にとりかえてください。ゴム管が古くなりますと、ガス元せんや器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れてガスもれの原因になり危険です。



使用手順

はじめてお使いのとき


はじめてお使いのときや、しばらくお使いにならなかつたあとなどは、ゴム管内に空気が入っているため、点火するまでに時間がながかることがあります。点火するまでしばらくお待ちください。40秒程度たっても点火しない場合は、スパークが止まり運転を停止します。いったん消火操作を行ない、再度点火操作をやりなおしてください。(11ページの消火操作をお読みください。)

点火前の準備と確認

- 電源プラグを交流100Vのコンセントにしっかりとさしこんでください。

<ご注意>

交流100V用コンセントであることを確認してください。200V等の場合、器具がこわれてしまいます。

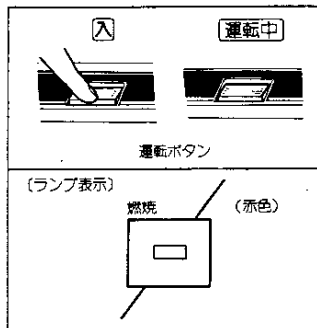
- 運転ボタンの  を確認し、ガス元せんを全開にしてください。

<ご注意>

ガス元せんが全開になっていないと点火しにくかったり、正常な燃焼ができなくなり、安全装置で消火してしまうことがあります。

使用手順②

点 火



● 点 火

- ① 運転ボタンを止まるまでいっぱい押し込んで手を離してください。運転ボタンは自然に中間位置に止まり運転を開始します。
- ② 同時にスパークがはじまり、バーナーに点火します。
- ③ 点火後、数秒して「燃焼」ランプが点灯するのを確認してください。

<ご注意>

運転ボタンが十分に押し込まれていないと、スパークがはじまってもガスが流れません。運転ボタンは、止まるまでいっばいに押し込んで手を離してください。

- いっばんにいっばいに押し込むと、自動的にガスは流れます。手で押えつづける必要はありません。

使用手順③

● 暖房運転の開始

点火後、1分程して、ルームサーモ（温度調節器）の動きによって、運転状態が自動的に切り替わります。（以後は自動的に行なわれ、手をふれる必要はありません。）

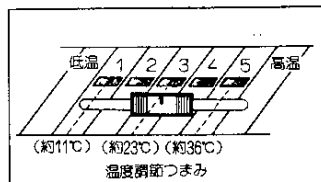
<ご注意>

室温および温度調節つまみの位置によっては、強燃焼のままでも切り替わらないこともあります。室温が低いとき、温度調節つまみが「高」側のときなど。また、点火したあとやルームサーモ（温度調節器）が作動したあとおよび消火したあとに「チリチリ」と金属音がすることがあります。これは燃焼器部分の金属が膨張・収縮する際の音で異常ではありません。

● 消火後の再点火

消火後すぐに再点火するときは、1分程してから行なってください。また必要以上に点火・消火をくりかえさないでください。着火音が大きくなったり、器具が過熱することがあります。また使用中、誤って電源プラグを抜いて消火してしまった場合は、運転ボタンを押しなおしてください。

温度調節



- 温度調節つまみでお好みの温度に調節してください。

ルームサーモ（温度調節器）の動きにより、「弱燃焼」「強燃焼」の切り替えで自動的に室温を一定に保ちます。

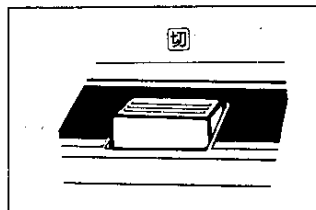
<ご注意>

温度調節つまみのセット温度は、ルームサーモ感温部の温度です。部屋の温度計とは必ずしも一致しません。あくまでもめやすと考えてください。

家屋の構造、外気温度、使用位置によっては、お好みの温度にならない場合があります。また、「弱燃焼」になってもお部屋の温度が上がっていくことがありますので、このときはいったん運転を停止してください。

使用手順④

消火



- ① 運転ボタンをもう一度押し込んでください。運転ボタンは自然に「切」の位置へ戻ります。

- ② 燃焼ランプは消えますが対流ファンは約3分間回り続けて、自動的に止まります。

- ご使用後は、ガス元せんも閉じてください。

<ご注意>

消火後、対流ファン（温風）が止まるまで電源は抜かないでください。器具内部の熱を出して過熱をふせぐために必要です。使用中、電源プラグを抜いて消火することはしないでください。

停電時の処置

● 停電時の処置

停電になったときは、運転ボタンを「切」にもどし、ガス元せんを止めておいてください。

● 停電後の再点火

ガス元せんを全開にし、通常の点火操作を行なってください。

<ご注意>

- 使用中停電になったとき対流ファンが止まるため、器体上部が過熱します。器体上部にふれないでください。（すぐに再通電したときは、対流ファンだけ回り過熱をふせぎます。）

- 運転ボタンが運転位置のまま、停電が復帰したときは、再度スパークを開始しますが、安全装置によりガスは流れませんので運転を停止します。

● 雷時の処置

雷時は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

●ハイリミットスイッチ（過熱防止装置）の作動

エアフィルターが目づまりしたり、温風吹出口に障害物があったりした場合には器具内が異常に過熱します。この場合、自動的にガス通路を閉じ、消火してしまいます。

エアフィルター及び吸気フィルターを掃除し、障害物を取り除いた後、しばらく(5~6分)してから再点火してください。(電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。)

●電流ヒューズの作動

ご使用中になんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、使用できなくなります。点火操作してもスパークがとばなくなります。修理点検が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●過熱防止用温度ヒューズの作動

万一異常過熱したときに、温度ヒューズが作動して消火します。(二重の安全装置)

この場合は、器具を冷やしても再点火できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●停電安全装置の作動

停電時は使用できません。安全装置が作動し、生ガスの放出を止めます。停電中は必ず運転ボタンを OFF にもどし、ガス元せんを閉じておいてください。11ページの「停電時の処置」をお読みください。

使用時のご注意②

安全装置が作動したときの処置方法②

●消火センサー(安全装置)の作動

使用中にバーナーが消えた場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。

ゴム管を踏んだり、ガス元せんが開きたりなかったときや、強い風が吹いたときなどにおこります。点検後、再点火してください。

●不完全燃焼防止装置の作動

ガスが正しく燃えるためには、ガスの6~10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。エアフィルターや吸気フィルターが詰まっても同様です。

このような場合に、不完全燃焼をする前に燃焼を停止する安全装置です。不具合を点検してから再点火してください。

●ファンコントローラ(送風制御装置)

電気回路中に組み込まれている送風制御装置で、消火後に器具の過熱を防止します。対流用ファンは消火後約3分間は止まりません。回っている間は電源プラグは抜かないようにしてください。消火後すぐに電源プラグを抜いたり、電源プラグを抜いて消火しますと、器具が過熱して故障の原因になります。また、器体上部が過熱してやけどの危険があります。

●転倒時ガス遮断装置の作動

使用中に器具が転倒した場合、瞬時にガスを遮断し運転を停止させる安全装置です。**器具を正しい姿勢に戻し、再点火してください。**

<ご注意>

安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
点検・手入れ前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。また電源プラグを抜いてから行なってください。

点 検

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエンドの赤線まで十分差し込んであるか点検してください。
- ゴム管が古くなったり、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためにガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに、紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いてないか点検してください。

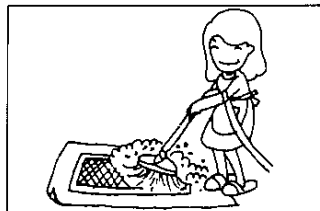
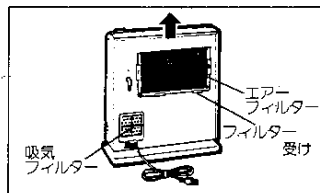
お手入れ

● フィルターのお手入れ

エアフィルター、吸気フィルターは週一度以上必ず掃除してください。エアフィルターは図のように上方に引き出すとはずれます。吸気フィルターは下部のツマミを手前に引けばとはずれます。フィルターは電気掃除機などでよく掃除してください。よごれがひどいときは、ぬるま湯で洗ってよく乾かしてからご使用ください。

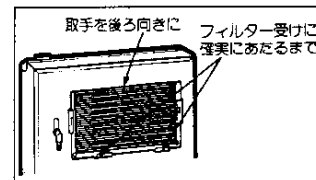
吸気フィルターは必ず正しい位置にセットしてください。

フィルターにゴミやホコリがたまると室内循環用の風量が減って暖房効果が悪くなるばかりでなく、異常過熱や、安全装置の作動の原因になります。



日常の点検・手入れ②

- エアフィルターは下部のフィルター受けに確実にあたるまできっちりと差し込んでください。
- エアフィルターは取手を後ろ向きに差し込んでください。



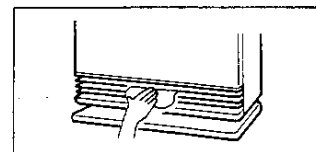
器具外装のお手入れ

- やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。汚れがひどいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れをおとしてください。このときは、洗剤をよくふきとってください。

<ご注意>

金属たわし、みがき砂などは使用しないでください。またベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対に使用しないでください。キズがついたり色があせたりします。

- 温風吹出口に白い粉が付着することがありますが異常ではありません。器具が冷えてから、やわらかい布でふきとってください。



- 温風吹出口にほこりのつまりがひどい場合は、掃除機などでとり除いてください。この場合は対流ファンが完全に止まってから掃除してください。

<ご注意>

エアフィルターを外した場合、器具内部には温度の高い部分があります。お手入れは器具が冷えてからおこなってください。また使用中は必ずエアフィルターと吸気フィルターをとりつけてください。使用中に器具内部に手をふれると、やけどや感電のおそれがありますので、お子様などにはじょうぶに注意してください。

故障・異常の見分け方と処置方法

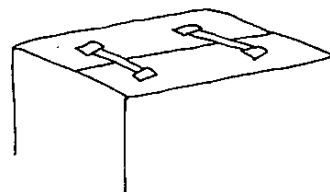
ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまま使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因	現象	スパークプラグがはきこ	点火プラグが点火しない(点火プラグの電圧不足)	ガス管の接続が不完全	ガス管が長すぎる	ガス管の折れ曲がり・つぶれ	ガス管のひび割れ・穴あき	サーモが「低温」側になっている	換気が不十分である	フィルターが詰まっている 吹出口に障害物がある 吹出口にほこりづまりが多い	点火(燃焼を開始)したばかりである	スパーク装置の故障(コード外れなど)	安全装置が作動した	運転ボタンの押し込み不十分	処置方法	参照ページ
電源プラグが差し込んでない	○	○													電源プラグを確実に差し込む	8
ガス元せんの開き忘れ・開き不十分			○	○	○										ガス元せんを全開にする	8
ゴム管内に空気が残っている			○	○											点火操作をくり返してください	8
ゴム管の接続が不完全				○											確実に接続する	7 8
ガスの種類が違う			○	○	○	○	○								本体右側面の銘板を確認してください	2
ゴム管が長すぎる ゴム管の折れ曲がり・つぶれ			○	○	○										不具合を除き再点火してください	3 7
ゴム管のひび割れ・穴あき				○											ゴム管を交換・先を切りつめる	8
サーモが「低温」側になっている															サーモの設定より室温が高いため「弱燃焼」になっている。サーモを「高温」側にする。	10
換気が不十分である								○							30分に1回1分間程度換気する	6 13
フィルターが詰まっている 吹出口に障害物がある 吹出口にほこりづまりが多い			○							○	○				日常の点検手入れを実施してください。障害物を除き再点火してください。	14 15
点火(燃焼を開始)したばかりである						○									点火時、少し臭うことがあります	
スパーク装置の故障(コード外れなど)	○	○													点検修理を依頼する	
安全装置が作動した	○	○					○	○							点検修理を依頼する	12 13
運転ボタンの押し込み不十分			○												止まるまでいっぱい押し込んでください。	9

● 処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニルをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分(ホースエンド)などにはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。保管場所は、高温になる所や、直射日光のあたる所はさけてください。
- なお梱包の際は付属のバンドを下記の要領で使用してください。



アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の頂を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品 名……(ファンヒーター)

(2) 品 番……左側面下部に貼付してあります。

(例)

(N)43-703 (U)

大阪ガス株式会社 05

(3) 現 象……(できるだけ詳しく)

(4) 道 順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区別があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。このファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

点検整備のおすすめ(有料)

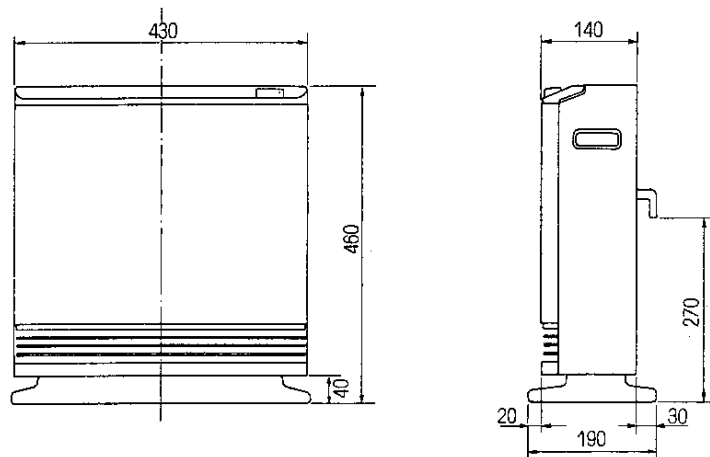
- 長期間、安全快適にご使用頂くために定期的に(3シーズンに1回程度)「点検整備」を受けられることをおすすめします。
- 「点検整備」は、お買上げの販売店または最寄りの大阪ガス支社にご用命ください。(有料)
- 「点検整備」の内容は、下記の通りです。
 - ① 機能部品の点検、点検
 - ② 清掃整備

特 長

- 1 設置工事が不要で手軽に温風暖房機の快適さが得られます。また使用場所の移動が可能です。
- 2 暖房の立ち上がりが早く、温風下吹き出しによる暖房効果のよさと、ルームサーモ(温度調節器)を備えた省エネルギー志向のファンヒーターです。
- 3 プッシュボタン式のワンタッチ点火で、操作が簡単です。
- 4 換気不足や、フィルターほこりつまり時に、自動的に燃焼をストップさせる不完全燃焼防止装置付きです。万一を考慮した安全設計です。
- 5 ルームサーモ(温度調節器)により、「強」・「弱」の2段に燃焼を制御しています。
- 6 たて型で場所をとらないコンパクトなデザインです。

寸法図と仕様一覧表

寸法図



種別		43-703型			
		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	LPガス
項目					
ガス消費量 (kcal/h)		2100	2100	2100	0.175kg/h
暖房のめやす		6~9畳(10~15㎡)			
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)		460×430×140 (ベース190)			
重量 (kg)		8.8			
電気消費量 (W)		強/弱 34/26			
接続	ガス	9.5mmφガス用ゴム管			
	電気	AC100V、50/60Hz(電源コード長さ1.8m)			
燃焼方式		表面燃焼式			
給排気方式		開放式			
放熱方式		強制対流式			
点火方式		電源スイッチ点火式			
安全装置		<ul style="list-style-type: none"> ○消火センサー ○不完全燃焼防止装置(サーモカップル) ○過熱防止(温度ヒューズ、ハイリミットスイッチ) ○電流ヒューズ ○停電安全装置 ○ファンコントローラ ○転倒時ガス遮断装置 			

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。